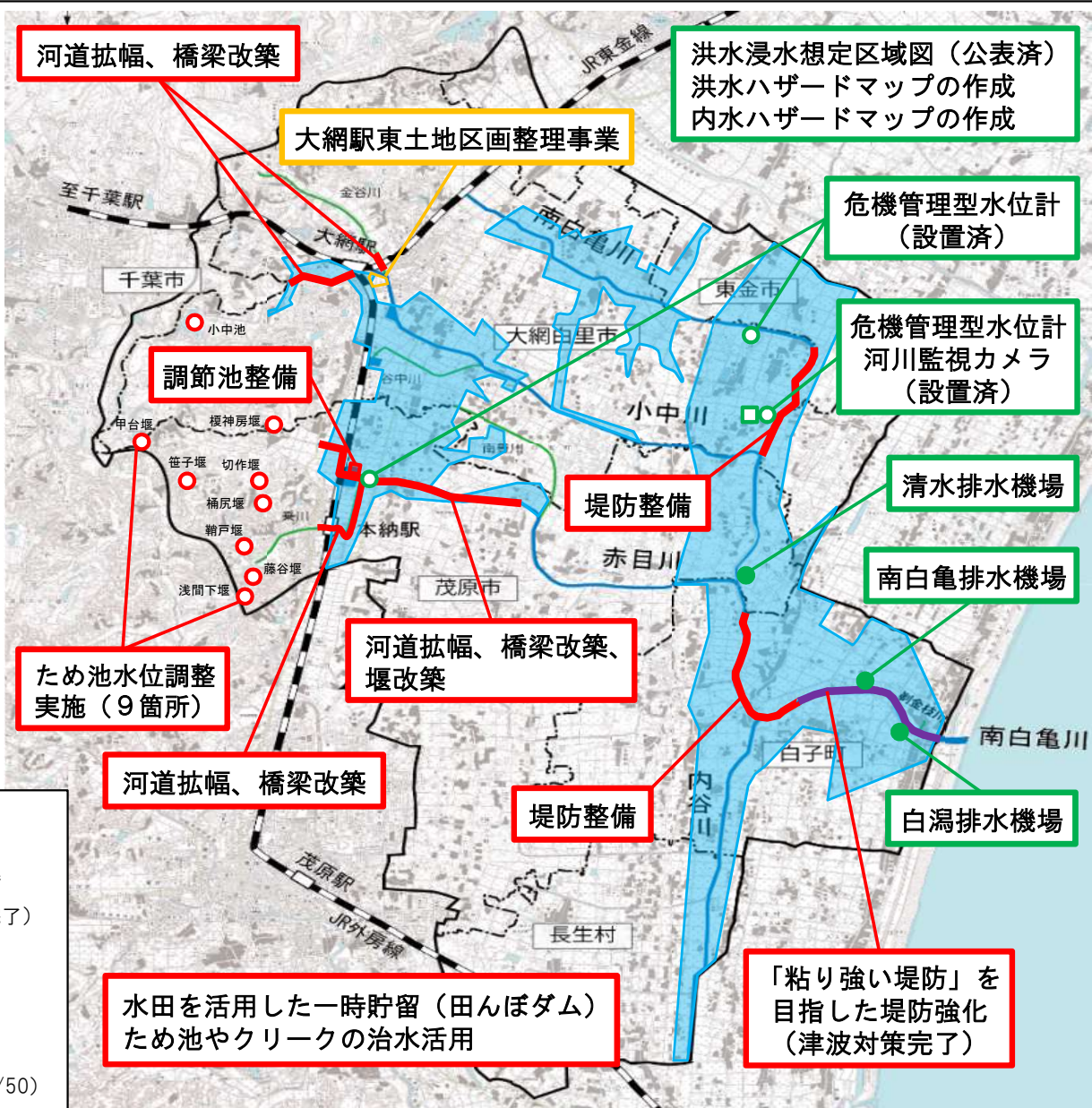


○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、南白亀川水系においてハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、平成8年9月台風第17号と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河川拡幅、堤防整備、橋梁改築、堰改築
 - ・調節池整備
 - ・樹木伐採、堆積土撤去
 - ・「粘り強い堤防」を目指した堤防強化（津波対策完了）
 - ・水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
 - ・ため池やクリークの治水活用
 - ・住宅等における各戸貯留
 - ・建築確認申請時の浸透桝設置のお願い
 - ・開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・立地適正化計画の策定支援
 - ・土地区画整理事業に合わせた宅地嵩上げ
 - ・耐水化建築の啓発（ポスター）

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・洪水浸水想定区域図（公表済）
 - ・危機管理型水位計、河川監視カメラ
 - ・水害対応タイムラインの活用
 - ・マイ・タイムラインの作成支援
 - ・洪水ハザードマップの作成（想定最大規模に更新）
 - ・内水ハザードマップの作成（下水道計画）
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
 - ・事業継続計画（BCP）の策定
 - ・不動産取引時の水害リスク情報提供
 - ・排水門等の整備（排水機場の耐水化）



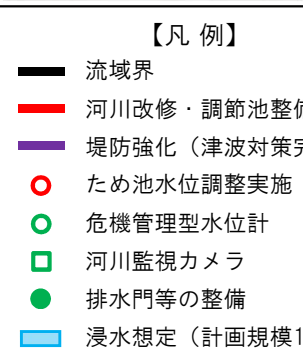
水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
ため池やクリークの治水活用

「粘り強い堤防」を
目指した堤防強化
（津波対策完了）

【平成8年】JR線路の冠水状況



【平成25年】河川からの氾濫状況



- 南白亀川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】河川における対策として、赤目川では上流域の調節池整備、中流域の河道拡幅等を推進するとともに、他の河川では計画的に河川改修を実施する。また、県管理の二級河川において、樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。
 - 【中期】南白亀川及び金谷川では早期完成に向けて河川改修を推進し、赤目川、小中川及び乗川では計画的に河川改修を実施する。
 - 【中長期】引き続き、赤目川、小中川及び乗川で河川改修を推進し、南白亀川水系全体の整備完了を目指す。
- あわせて、農地が多くを占める流域内の土地利用状況を踏まえ、雨水を一時的に貯留する田んぼダムやため池等の治水活用を促進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、堤防整備、橋梁改築、堰改築、調節池整備	千葉県、茂原市、大網白里市	南白亀川、赤目川、小中川、乗川、金谷川等の河川改修を実施		
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	二級河川で実施		
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム)	集落活動組織等	千葉県と関係市町村が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と関係市町村が実施主体に対し取組拡大を促進		
	住宅等の各戸貯留、建築確認申請時の浸透柵設置のお願い	茂原市	継続して実施		
	開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導	関係市町村	継続して実施		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
	土地区画整理事業に合わせた宅地嵩上げ	大網白里市	事業完了		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	増設予定		
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市町村	継続して実施		
	マイ・タイムラインの作成支援	茂原市、東金市、大網白里市	継続して実施		
	内水ハザードマップの作成(下水道計画)	茂原市	作成		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	東金市、大網白里市	継続して実施		
	事業継続計画(BCP)の策定	東金市、大網白里市	随時見直しながら実施		
	不動産取引時の水害リスク情報提供	大網白里市	継続して実施		
	排水門等の整備(排水機場の耐水化)	千葉県	排水機場1箇所完了	排水機場2箇所完了	

【事業費(R3以降の残事業費)】
 ■河川対策
 全体事業費 87.1億円
 河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
 更なる対策を推進